

## 歴史と伝統引き継ぐ学校に

東急ドライビングスクールが竣工

五島育英会



五島育英会(山口裕啓理事長)が、東京都多摩市で進めてきた東急自動車学校新築工事が完成し、11月30日に現地で竣工式が

設計・監理＝五島育英会、東急設計コンサルタント  
施工＝東急建設



下永田社長



白石校長

開かれた。創業地となる東京・田園調布、世田谷区で培った歴史と伝統を引き継ぎ、多摩ニュータウンに「東急ドライビングスクール」として移転・開校する。設計・監理を五島育英会と東急設計コンサルタント、施工を東急建設が担当した。



市川社長

理事長、東急自動車学校の白石明校長、東急設計コンサルタントの下永田洋社長、東急建設の市川正美社長が玉串を奉納した。

直会(なほらい)では、白石校長が「『習う場』としての快適性『過ごす場』としての心地よさをコンセプトにした校舎が完成した。このすばらしい施設に歴史と伝統を移し替え、教習に魂を込めたい」とあいさつした。

下永田社長は「大学や企業の施設、住宅地などが立地する周囲の環境に配慮し、都会的でおしゃれな施設を目指して設計を進めた。建物の設備では、氷蓄熱やLED(発光ダイオード)照明を採用し環境面にも配慮した」と説明した。

市川社長は「教習コースなどの土木工事と校舎の建築を同時に進めたため、多くの制約があったが、五島育英会や東急設計コンサルタント、多くの方の協力があって無事完成させることができた」と述べた。

規模は、S造地下1階地上3階建て延べ4855平方メートル。二輪車と四輪車の教習コースを別々に備える都内でも最大級の自動車学校となる。

工期は4月から11月まで、10日に開校する。

建設地は、同市唐木田3-6の敷地3万5476平方メートル。

無断転載禁止 ・ 著作権は日刊建設通信新聞社に帰属します  
転載承認済み